

災害時の避難行動

「難」を「避ける」ための避難の考え方

災害が発生し、家屋内に留まることが、危険な状態になった場合は、落ち着いて素早く避難する必要があります。多くの住民が避難する避難所は、3つの密（密閉・密集・密接）になりやすく、感染症拡大のおそれがあるため、村が開設する避難所だけではなく、可能な場合は、安全な場所に住民や友人へへの避難も検討するようにしましょう。

「立ち退き避難」をするなら…

- 指定された避難所
 - 小・中学校や公民館など、指定された避難所に避難します。以下のものは、自分たちで避難しましょう。
 - マスク ●消毒液 ●体温計 ●スリッパ など
- 安全なホテル・旅館
 - たとえ避難が目的でも、通常の宿泊料などが必要になります。事前に予約を確認しましょう。
 - ハザードマップで避難先が安全かどうかを確認しましょう。
- 安全な親戚・知人宅
 - 普段から親戚や知人と連絡を取り合い、災害時に避難することを相談しておきましょう。
 - ハザードマップで避難先が安全かどうかを確認しましょう。

「屋内安全確保」をするなら…

- 土砂災害の危険がある区域では「立ち退き避難」が原則です。
- 土砂災害の危険がある区域では「立ち退き避難」が原則です。
- 土砂災害の危険がある区域では「立ち退き避難」が原則です。

「命を守る避難行動」〜立ち退き避難と屋内安全確保

大雨のときには、親戚や知人宅、村が開設する避難所のように安全な場所へ避難する「立ち退き避難」が原則です。

しかしながら、夜間や急な大雨で家の外に避難することが、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、少しでも命がかかる可能性の高い避難行動として、かけつけられた2階以上の安全な場所（部屋）へ移動し、安全確保（屋内安全確保）を行うことが必要です。

屋内安全確保

- 避難する際に、避難経路の危険箇所がわかっている
- おぼえに浸水している（50センチ以上）
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

立ち退き避難

- 避難する際に、避難経路の危険箇所がわかっている
- おぼえに浸水している（50センチ以上）
- 浸水は20センチ程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

屋内安全確保

- 浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合は、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に避難し、救助を待つことも検討してください。

南阿蘇村 避難指示等発令基準

風水害の場合 ●避難指示等発令基準

気象情報等	大雨注意情報等	大雨警報等	土砂災害警戒情報等	土砂災害の前兆等
全域	予防的避難（自主避難）	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保

土砂災害から身を守る

前兆に注意しましょう！ 次のような現象を確認したら早めに避難しましょう。

「土砂災害から身を守る」

- 土砂災害の前兆等
- 土砂災害の前兆等
- 土砂災害の前兆等

土砂災害からの避難

- 日頃から、山（斜面）から離れた部屋や2階で過ごすことが重要です。
- 村が作成しているハザードマップを確認し、自宅が土砂災害警戒区域等にあるかどうかを確認しましょう。
- 避難場所や避難経路を確認しましょう。
- 大雨や台風などで、5段階の警戒レベルに応じた避難開始のタイミングや避難行動をまとめたマイタイムラインを作成しておきましょう。
- 気象情報をテレビ・ラジオ・インターネット等で収集しましょう。
- 大雨警報（土砂災害）の危険度分布をインターネットで確認しましょう。
- 明るい時間帯のうちに、避難所や親類など安全な場所への早いタイミングでの避難を行います。

地震災害から身を守る

地震についての基礎知識



地震災害発生事例

熊本県にも「活断層」があります

●これまで日本は何度も地震に襲われ、大きな被害を受けてきました。

●熊本県でも、地震による死者や負傷者が発生しています。

●これまで繰り返し地震を起し、今後も地震を起すと考えられている断層を「活断層」といいます。

●このタイプの地震は熊本県にもあり、備えが必要です。

日頃の備え

- 備えることで危険は減らせます
- 家具の固定
- 消火の備え
- 家族間での話し合い

風水害から身を守る

日頃の備えと早めの避難

- 日頃の備え
- 防災情報の収集
- 地域の危険箇所や避難経路の確認
- 雨がひどいときは…
- 早めの予防的避難を！
- 避難するときの注意点
- 避難が危険な場合は

火山噴火から身を守る

噴火警戒レベルと対応（避難行動）

レベル	名称	対象範囲	火山活動の状況	住民の行動
1	噴火警戒レベル1（低レベル）	噴火口周辺	噴火警戒レベル1に引き上げられた噴火口周辺に限定して噴火活動が継続している	噴火口周辺を避けて通常の生活を行う
2	噴火警戒レベル2（低レベル）	噴火口周辺	噴火警戒レベル2に引き上げられた噴火口周辺に限定して噴火活動が継続している	噴火口周辺を避けて通常の生活を行う
3	噴火警戒レベル3（中レベル）	噴火口周辺	噴火警戒レベル3に引き上げられた噴火口周辺に限定して噴火活動が継続している	噴火口周辺を避けて通常の生活を行う
4	噴火警戒レベル4（高レベル）	噴火口周辺	噴火警戒レベル4に引き上げられた噴火口周辺に限定して噴火活動が継続している	噴火口周辺を避けて通常の生活を行う
5	噴火警戒レベル5（最高レベル）	噴火口周辺	噴火警戒レベル5に引き上げられた噴火口周辺に限定して噴火活動が継続している	噴火口周辺を避けて通常の生活を行う

備えて安心 非常持出品

- 非常持出品
- 非常持出品
- 非常持出品

避難所生活の心得

避難所開設までの例

- 避難所とは
- 避難所でのマナーとルール
- 避難所における感染症・食中毒対策
- 避難所到着後からの例
- 要配慮者への留意点

地域を守る！ 自主防災組織

自主防災組織とは

自助：共助：公助 = 7 : 2 : 1

自助：共助：公助 = 7 : 2 : 1

自助：共助：公助 = 7 : 2 : 1

防災情報の収集

南阿蘇村登録制メール配信サービス

南阿蘇村防災メール

南阿蘇村防災メール